



『 絆 』

第 160 号
平成23年 9 月30日
発 行
苫小牧南高等学校 P T A



P T A 会長

出 垣 匠

平素より、苫小牧南高校 P T A 活動にご理解ご協力を頂き、心よりお礼申し上げます。本校 P T A 会長を務め、3 年目を迎えさせて頂きました。今日まで、P T A 活動が滞りなく行なえましたのも、校長先生をはじめ諸先生方のお力添えと、後援会皆様のご指導、会員皆様のご協力があったからこそ行なえたものと思っております。あらためて感謝申し上げます。

さてこの度、「苫南だより」の原稿依頼があり、何を書かせて頂くか悩んでおり資料を探していたとこ

ろ、先日の北海道新聞で、或る生命保険会社が「日本の未来を強くするために必要なものを表わす漢字一文」を募集したところ、「絆（きずな）」が一位になったとの記事を読みました。「絆」と云う言葉は、昨今、様々な場面で使われることが多く、特に東日本大震災後、助け合おうと云う気持ちから多く使われるようになったように思います。私は、「絆」とは断つことの出来ない人同士の結びつきを意味合いとし、親子・兄弟等の関係で、それを更に強めなければならない等と、今更、声

を大にする必要の無い、当たり前前の事」と考えておりました。そこで「絆」とはどのような意味を持つのか調べたところ、その中に次のような意味を持つことを知りました。それは、馬や牛など動物を繋ぎとめておく、綱を意味するとの事でした。その「絆」は単に繋ぎ止めておく、綱という道具ですが、放っておくと離れてしまうことも考えられます。そのためには、常にしっかりと結びあっていることを確認することが必要であり、その確認こそが「絆」の意味するところと私は考えました。

昨今、人との関係が希薄になっていくと云われております。それには様々な事情が考えられるでしょう。人付き合いが面倒である、人に対して無関心等々いろいろあるように思います。残念な事ではありますが、この度の震災により人と人との繋がりの大切さを痛感したのは私だけではないように思います。大切な家畜等が離れてしまわないように「絆」を確認する、この事は人と人との関係にも共通することのように思います。ただし、人と人との関係においては、繋ぎ止めておく為の「綱」の役目ではなく、お互いが相手の気持ちと思い、力加減を考慮しながら繋がる結びつきが大切のように思いま

す。「絆」とは、「断つことの出来ない繋がり」であり、切るに切れない「縁」とは違い、人を思いやる心を持ち、お互いに結び合っていることを確認しつつ信頼関係を保つことが「絆」であるように思います。本校の皆さんも、同級・同窓などの「絆」をお互いしっかりと結び合っていることを大切に、更に強めて行くことを願っております。



素晴らしき南高応援団(P T A)

P T A副会長 佐々木 隆 治

私がP T A役員を引き受けて、早2年目になります。

1年目の終り頃にあたる今年の3月、東日本大震災という悲しい出来事がありました。多くの犠牲者が出ました事に、御冥福をお祈り致します。

ところで、私は我が子の応援団長を務めておりますが、高校生にもなると、学校に対しP T Aとして親の出る幕なしと思っていました。そんな時、現P T A会長より役員の誘いのお話し。小学校・中学校とは違い、形だけ、名前だけだろうと思っていました。初めての役員会議に出席すると、役員の数の多さ、お母さん方の熱心さにびっくり致しました。さらに学校側の対応も校長先生を始めとする諸先生方は、生徒にもP T Aにも協力を惜しまず、明るく接して下さいます。その明るさから、子供達も楽しい学校生活を送っている事が良く伝わります。また、P T A、後援会という長年

にわたり、諸先輩方が築きあげて来た素晴らしい組織がある事。普通子供が卒業すると、学校にはなかなか南高校のサポートチームとしてものすごい力を発揮して下さいます。特に学校祭でのP T Aの協賛バザーでは、後援会・役員のお母さん達の団結力、指導力、行動力は他校にも自慢の出来る程素晴らしい物があります。段取の良さは天下一品、私の仕事から段取七分、仕事三分と言いますが、正しくお母さん達は、段取十分、仕事十分という驚異的な仕事ぶりでした。私にとって2回目となる、今年はこのP T Aの協賛バザーに教職員、あるいは後援会、役員以外のP T Aのお父さんお母さん達のお手伝いの人数も多くなり、楽しく、とても充実した年になりました。ありがとうございます。

私が役員を務めて感じた事、それは苦小牧南高校は明るく、結束力のある素晴らしい学校だと言う事、ま

るで、なでしこジャパンの様に。私は南高の子供達のサポーターとして、これからも応援団員を務めさせて頂きます。最後に今年残りの行事につきましても、皆様方の更なる御協力をお願い致します。

P T Aバザー報告

学校祭二日目の七月十日、恒例のP T A焼き鳥バザーが開催されました。

天候にも恵まれた当日、P T Aと後援会からあわせて約五十名のご協力を得て、十一時半に開店。香ばしい匂いに誘われ、多くの方々が足を運んでくださいました。結果、昨年より二〇〇本多い三五〇〇本を閉店時間前に完売することができました。今年はこの売り上げを東日本大震災の義援金に充てることになりました。善意の六万八六一九円を日本赤十字社を通じて被災地に送らせていただきましたので、ご報告申し上げます。ご協力ありがとうございました。



輝きつづけて

一学年委員長 堀 啓一

まずは私、保護者のひとりとして、一学年保護者を代表し、本年の新生年生達を快く迎え入れて頂き、南高すべての関係者の皆様に対し、感謝すると共に今後とも宜しくお願い申し上げます。

四月八日の入学式から早いもので三ヶ月が過ぎました。新一年生におかれましては、不安そして緊張、数少ない知人・友人の面々へのとまどいと様々な思いを乗せて入学式会場へ入場して来たことと思います。しかしながら、私にはそうした思いプラス前向きな子供達の輝いている姿を今でもしっかりと覚えていきます。

校長先生もお話しされていましたが、これからの子供達の世代・次世代へ向けて、社会人として成長していく中でひとつだけプラスしなければならぬ事は、この度の東北での震災の出来事をかいまみて、いざというときの助け合い、私達の様に近くへ行けず歯がゆく思っていた事とありますが、私自身は貴重な経験をさせて頂いておられます。

けることも出来るでしょう。人は助け合いです。南高の輪を大切に！

PTA会長がお話しされていた、私達PTAにたずさわる役員の方々後援会のみなさま、保護者のみなさま、勿論南高にたずさわる先生・関係者のみなさま、すべて『子供達のために！』を合言葉に好苦楽夢！

高校生活をスタートした一年生のみなさまには、今一度、君達の回りには沢山の応援団がいます。守られていることを胸に思いきって三年間、スポーツ・学業をベースに汗・冷や汗びつしよりになって、あせらず頑張つて下さい！きっとその先には入学式の時と同じ姿で輝き続けていると確信しています。

二年目の想い

一学年委員長 内山 麻子

沈黙の時間を経て二年目の学年委員長を引き受ける事となりました。昨年に引き続き、名ばかりで何も役に立てず申し訳なく思っておりますが、私自身は貴重な経験をさせて頂いておられます。

苦南祭では、まるでタイムスリップして高校生に戻ったかのように楽しく参加させて頂きました。

『行灯行列』で交通指導をしながら子供達の青春パワーを吸収し：自

分も一員になったような錯覚に陥り、クラスTシャツ着たいなあと思つてみたり(笑)：

『焼き鳥販売』で暑い中汗を流して、PTAや後援会の方々と力を合わせて頑張り、完売した時の達成感：今年には東日本大震災への義援金に当たるとの事で、一層力が入りました。

終了後の『懇親会』。乾杯のビールの美味しさはもちろん格別でした。先生方とも楽しく交流出来、普段はあまり聞く事の出来ない学校の様子も伺えたり：

この様な経験は、私自身の糧になっています。又、親の手から離れる自分の世界を築いて行こうとしている子供の、学校での様子を知る良い機会だなあと感じております。

残りの期間も全力で頑張りますので宜しくお願いします。

もうすぐ社会人

三学年委員長 廣瀬真奈美

初めての受験生で、緊張の中無事に合格し、南高生になったのもつい最近の事のように感じます。

本当にあつという間の三年間で、今はもう社会人となる準備期間、父親の背中を追い消防士を目指し勉強中です。

いくつになっても心配はつきませんが、こうやってどんどん大人になっていくのでしょうか。

南高は、学校祭や各行事の中でも先生方と保護者の交流も多く、高校生にもなると学校での出来事はわからなくなっていくものだろうと思ひも杞憂に終わり、安心して通わせる事が出来ました。

スキー学習、修学旅行のビデオ撮影、上映会等先生方のお心遣いには心から感謝しております。

入学当初には人間関係に悩んだ時期もありましたが自分で乗り越えここまで頑張ってきた息子を誇りに思ひ、この子なら社会に出ても、きっと大丈夫だろうと心強く思っています。最後になってしまいました。先生方には本当にお世話になりました。あと半年間どうぞよろしくお願い致します。



前期
部活動活躍の跡

体育系

●**野球部**

◎第50回春季北海道高等学校野球大会室蘭支部予選
5月9日～15日

1回戦 対 登大谷 11-1
2回戦 対 駒澤 1-10

◎平成23年度第93回全国高等学校野球選手権大会
室蘭支部予選
6月25日～7月2日

1回戦 対 穂別 10-0
2回戦 対 駒澤 3-9

●**サッカー部**

◎第45回苫小牧地区会長杯争奪サッカー大会
4月16日・17日・23日・24日

《予選リーグ》
対 苫西 15-0
対 白東 5-1
対 苫高専 2-1
対 浦河 1-2

《決勝トーナメント》

準々決勝 対 静内 2-3

◎平成23年度第64回高体連サッカー競技室蘭支部予選会
5月24日～27日

1回戦 対 鶴川 12-1
2回戦 対 室工 4-1
3回戦 対 室大谷 2-6

◎高円宮杯U-18サッカーリーグ2011
道南ブロックリーグ
5月10日～7月27日

対 伊達 8-1
対 室清水 4-1
対 浦河 3-2
対 函工業 2-0
対 函中央 2-2
対 函有斗 0-2
対 函大谷 1-5
対 登大谷 0-3
対 室大谷 2-3
4勝4敗1分 勝ち点13 ブロック6位

◎平成23年度第90回全国高等学校サッカー選手権大会苫小牧地区予選大会

8月27日・28日・9月3日・4日
1回戦 対 えりも 4-2
2回戦 対 駒澤 0-12

●**陸上競技部**

◎第64回北海道高等学校陸上競技選手権大会
室蘭支部予選会
5月27日～30日

【男子決勝】
5000m 6位 岩城和真
800m 1位 茂呂駿一朗 全道大会へ
走り幅跳び 5位 互野貴博 全道大会へ
【女子決勝】
やり投げ 1位 菅原瑞貴 全道大会へ
円盤投げ 3位 菅原瑞貴 全道大会へ
100m 5位 小野寺憂綺 全道大会へ
100m 6位 半田美寿佳 全道大会へ

◎第64回全国高等学校陸上競技対校選手権大会
北海道予選会
6月20日～24日

【男子】
走り幅跳び 互野貴博 予選敗退
800m 茂呂駿一朗 準決勝進出
【女子】
400mR 宮崎・小野寺・松原・半田 予選敗退
100m 小野寺憂綺 予選敗退
100m 半田美寿佳 予選敗退
円盤投げ 菅原瑞貴 予選敗退
やり投げ 菅原瑞貴 予選敗退

●**ソフトテニス部**

◎苫小牧選手権春季ソフトテニス大会
5月4日

【女子ダブルス】
準優勝 清水・佐藤

◎第64回北海道高等学校ソフトテニス選手権大会
室蘭支部予選会
5月24日～26日

【男子団体】
1回戦 対 登明日 0-3
【女子団体】

1回戦 対 静内 3-0
2回戦 対 伊緑丘 2-1
準々決勝 対 苫東 1-2
3位入賞
【女子ダブルス】
ベスト8 佐藤・清水 全道大会へ

◎第64回北海道高等学校ソフトテニス選手権大会
6月14日～17日

【女子ダブルス】
1回戦 佐藤・清水

◎第66回国民体育大会苫小牧地区予選会
6月25日

【女子ダブルス】
ベスト8 菊地・松本楓、川田・松本彩 全道大会へ

◎第38回苫小牧地区高等学校新人ソフトテニス大会
8月6日～7日

【女子ダブルス】
ベスト8 菊地・松本楓 全道大会へ

◎第66回国民体育大会北海道予選大会
8月12日～14日

【女子ダブルス】
1回戦 菊地・松本楓、川田・松本彩

◎平成23年度北海道高等学校新人戦ソフトテニス大会
8月27日

【男子団体】
予選トーナメント 対 浦河 0-3
決勝リーグ 対 苫東 1-2
対 室清水 1-2

対 室栄 1-2

卓球部

◎平成23年度春季中学・高校卓球大会

【男子団体】

1 回戦 敗退

【男子シングルス】

ベスト16 山家拓人

◎平成23年度第64回北海道高等学校卓球選手権大会
大会室蘭支部予選会

【男子学校対抗】

1 回戦 対 浦河 0-3

◎第66回国民体育大会卓球競技北海道予選会

【男子シングルス】

1 回戦 山家拓人

【女子シングルス】

2 回戦 高山優香

テニス部

◎平成23年度むろらんテニス大会

4月9日～10日

【男子ダブルス】

第3位 吉田陽・池野

【女子ダブルス】

ベスト8 鎌田・外崎

【男子シングルス】

第3位 吉田陽、吉田恒輔

◎第21回室蘭支部高等学校春季テニス大会

4月29日～30日

【男子ダブルス】

ベスト8 吉田陽・池野

【男子シングルス】

ベスト8 吉田陽

◎第36回北海道高等学校体育連盟室蘭支部テニス選手権大会

5月17日～19日

【男子ダブルス】

準優勝 吉田陽・池野

【女子シングルス】

ベスト8 鎌田早希

◎第51回北海道高等学校テニス選手権大会 兼
第101回全国高等学校テニス選手権大会北海道地区予選会

6月14日～17日

【男子ダブルス】

吉田陽・池野組 1 回戦敗退

【女子シングルス】

鎌田早希 1 回戦敗退

【女子団体戦】

対 江陵高校(十勝支部) 1 回戦敗退

バスケットボール部

◎高等学校バスケットボール苫小牧地区春季大会

4月26日～27日

【男子】

1 回戦 対 苫高専 97-42

2 回戦 対 駒澤 64-101

【女子】

準決勝 対 浦河 55-33

決勝 対 苫総経 76-80

◎高体連バスケットボール選手権大会室蘭支部予選会

5月24日～26日

【男子】

1 回戦 対 伊緑丘 80-34

2 回戦 対 室栄 66-69

【女子】

予選トーナメント

1 回戦 対 苫西 101-49

2 回戦 対 登明日 80-24

決勝リーグ

対 苫東 49-65

対 駒澤 40-80

対 苫総経 64-32

第3位

バレーボール部

◎春季バレーボール選手権大会

5月8日

【男子】

リーグ戦

対 苫工 0-2

対 苫高専 0-2

対 苫西 0-2

【女子】

1 回戦 対 苫東 0-2

◎平成23年度高体連バレーボール選手権大会室蘭支部予選会

5月21日～23日

【男子】

予選リーグ

対 静内 0-2

対 室清水 2-0

決勝リーグ進出ブロック戦

対 静内 1-2

【女子】

対 苫東・苫南 1-2

予選リーグ

対 浦河 0-2

対 室清水 0-2

バドミントン部

◎第66回国民体育大会バドミントン競技苫小牧地区予選会

4月23日

【男子ダブルス】

ベスト8 浦川・田中

【男子シングルス】

浦川慶久

【女子ダブルス】

優勝 木村・米川 全道大会へ

準優勝 坂本・千葉 全道大会へ

ベスト8 北川・矢倉、石川・上村

【女子シングルス】

準優勝 坂本里帆 全道大会へ

第3位 木村瑞希 全道大会へ

第4位 米川みさと

ベスト8 矢倉ゆめ、金子佑子

◎第66回国民体育大会バドミントン競技北海道予選会

5月12日～14日

【女子ダブルス】

1 回戦 木村・米川、坂本・千葉

【女子シングルス】

1 回戦 坂本里帆、木村瑞希

◎高体連バドミントン選手権大会室蘭支部予選会

5月17日～20日

【男子団体】

1 回戦 対富川 3-2

2 回戦 対室栄 1-3

【女子団体】

◎平成23年度全日本ジュニア出場選手選考会

8月10日

【男子シングルス】

1 回戦 浦川慶久

◎第64回北海道バドミントン選手権大会

8月4日～6日

【男子シングルス】

1 回戦 浦川慶久

【女子ダブルス】

2 回戦 木村・米川

●水泳

◎第64回北海道高等学校選手権水泳競技大会室蘭支部予選

6月4日

【男子】

1 00 m自由形3位 猪俣暁 全道大会へ

4 00 m自由形2位 猪俣暁 全道大会へ

1 00 m平泳ぎ4位 猪俣毅 全道大会へ

2 00 m平泳ぎ2位 猪俣毅 全道大会へ

【女子】

1 00 m背泳1位 川端沙季 全道大会へ

2 00 m背泳1位 川端沙季 全道大会へ

◎第64回北海道高等学校選手権水泳競技大会

7月15日～17日

【男子】

1 00 m自由形 予選敗退 猪俣暁

4 00 m自由形 予選敗退 猪俣暁

1 00 m平泳ぎ 予選敗退 猪俣毅

2 00 m平泳ぎ 予選敗退 猪俣毅

【女子】

1 00 m背泳 予選敗退 川端沙季

2 00 m背泳 予選敗退 川端沙季

文化系

●演劇部

◎平成23年度第34回苫小牧演劇フェスティバル

5月18日～19日

●吹奏楽部

◎定期演奏会

8月20日

◎高文連苫小牧支部第45回音楽発表大会

8月24日～25日

優秀賞

●写真部

◎平成23年度高文連苫小牧支部写真展・研究大会

9月2日

入選 吉田彩乃、小笠原洗輝、宮澤真澄、平岡梨沙、荒澤七海、佐々木唯

●美術部

◎平成23年度高文連苫小牧支部美術展・研究大会

9月8日～9日

優秀賞 阿部瑞穂、花井晴香

奨励賞 安田彩美、三好愛美、藤澤杏奈、藤田綺伽

●書道部

◎平成23年度高文連苫小牧支部書道展・研究大会

9月8日～9日

優秀賞 青野萌絵、坂川美優、佐々木梢

庄司真苗、永桶里佳、工藤詩織

森口莉帆、川端沙季、鈴木智美

瀧本杏里

奨励賞 成田純花、三上莉菜、東田莉菜

城戸美里、高島梨沙、吉田瑠莉

渡邊 杏

◎第63回全国高等学校バドミントン選手権大会

6月13日～17日

【女子団体】

1 回戦 対札幌龍谷 0-3

【女子ダブルス】

2 回戦 木村・米川、坂本・千葉

【女子シングルス】

2 回戦 木村瑞希、米川みさと

1 回戦 坂本里帆

◎第64回北海道バドミントン選手権大会苫小牧地区予選会

6月25日

【男子シングルス】

優勝 浦川慶久 全道大会へ

ベスト8 田中政成

【男子ダブルス】

ベスト8 浦川・田中、宗元・菊地(苫東)

【女子シングルス】

準優勝 金子佑子 全道大会へ

【女子ダブルス】

優勝 木村・米川 全道大会へ



大きな経験と成長

バドミントン部

坂本 里帆

私たちは全道大会で入賞できるよ
うに日々、練習に取り組み、地区予
選で団体戦は三連覇でき、個人戦も
全道大会に出場できました。

団体戦では一回戦敗退してしま
いとても悔しい気持ちで最後まで私
は涙でいっぱいでしたが、パートナ
ーと全力で戦うことができ、笑顔で試
合できたことは本当に最高でした。

今までの練習の日々は楽しいこと
ばかりではなく、辛いこともあり、
困難もありましたが、仲間がいたか



ら最後まで頑張ることができました。
いろんな経験を成長してきた私が
心からこの部活に入って良かったと
思っています。

指導して下さった塙先生、渡邊先
生にはとても感謝しています。本当
にありがとうございました。後輩に
も、いろんなことを学び、日々成長
しながら、これからも練習に励んで
ほしいと思っています。

全道大会で感じたこと

ソフトテニス部

清水 琴美

私は、団体戦・個人戦での全道大
会出場を目指し、日々練習に励んで
きました。高体連、惜しくも団体戦
での全道は逃してしまいましたが、
三位入賞でした。約三年間同じ仲間
と共に戦い、最後に良い結果を残せ
たことがとても嬉しかったです。個
人戦は全道出場することができ、大
きな自信に繋がりました。一回戦敗
退と、悔しい結果に終わりましたが、
笑顔で自分たちのプレーを成し遂げ
ることができました。全道大会は毎
日の練習の大切さや、試合の重さを
気付かせてくれました。それを生か
しこれから前に進んでいきたいです。
今までソフトテニス部を支えて下
さった先生方、日々共に練習してき

た最高の仲間本当に感謝していま
す。ありがとうございました。
後輩にもソフトテニスが出来ること
に感謝し、全道出場を目指して精
一杯頑張つてほしいと思います。

最後の全道大会

陸上部 茂呂 駿一朗

最後の全道大会ということで3年
生になってからずっと、この高体連
の全道大会に向けて日々元気の良
い仲間達とつらい練習に励みまし
た。僕の専門種目は800メートル
なのでスピードと体力の両方を鍛え
る300メートルダッシュなどをた
くさん走りました。その結果5月25
日から行われた高体連支部予選で宿
敵室蘭大谷の選手と競り合つて2分
01秒という自己ベストで支部予選
を優勝で通過することができました。
そしてついに6月21日から行われた
高体連の全道大会では予選は2分
00秒(自己ベスト)を出して2位
に入り準決勝に進むことができました。

予選での記録では2分をきると
いう僕の目標がすぐ手の届くところ
まできていたので、準決勝では「2
分をきるぞ」という決意のもと競技
に臨みました。走ってみるとやはり
他の選手も速く大混戦のレースにな
りましたが、その中で4位に着き、

1分58秒という記録で最後をしめ
くることができました。今まで応
援してくれた陸上部のみんなありが
とうございました。

来年も全道へ…

水泳 川端 沙季

私たちは、七月に札幌の平岸プー
ルで行われた全道大会に出場しまし
た。泊まりがけだったので、自分の
体調の管理が大変でした。

前日に満足するまでアップをし、
そして当日。やはり、全道大会とな
ると速い人が多く優勝するのはとて
も大変なこと。しかし、少しでも
良い結果を出そうという気持ちで、
日々練習に励んできました。が、そ
んな中私は、悩むこともありまし
た。それは、学校祭が近く準備で忙しい
ため、一番練習をしなければならな
い時にできないと言う事でした。そ
の分、家で筋トレ等をしました。
全道大会の結果は、自分の思うよ
うなレースができた人、悔しい結果
だった人…さまざまでした。
現在水泳部は三人で、部活動扱い
でも同好会にもなっていないので来
年は多くの入部を期待し、皆そろつ
て全道大会に出場し良い結果を残し
たいです。

第三十六期の一年間

生徒会会長 川瀬 未歩

私たち第三十六期生徒会執行部の活動、長かったようで短かった一年間の任期が終了しました。

四月に行った対面式に始まり、部活動紹介、高体連壮行会、学校祭、スポーツ大会などこの一年多くの行事を運営してきました。毎日のように放課後遅くまで残り、意見を出し合いながら準備を進めてきました。

行事があるたびに、うまく運営できるのか不安になり、たくさん悩みました。しかし、生徒会全員で一つ一つの行事を乗り越え、無事終えることができました。

また、周りのみなさんの協力があったからこそ私たちは行事を運営することができたのだと思います。全校生徒一人一人が協力し合い行事を作り上げていくことで初めて私達の活動に意味がでてくるのです。生徒会活動に携わり、協力して下さったみなさんには感謝の気持ちでいっぱいです。

これから第三十七期生徒会でも今までの反省を生かし、苦南の行事を作り上げてほしいと思います。一年間、第三十六期生徒会執行部を支えてくれた全校生徒のみなさん、

先生方、PTAの方々、本当にありがとうございました。

前期を終えて

生徒会担当 佐々木守道

今年4月に赴任したばかりの私が、生徒会担当としてまずやらなければならなかったのは、4月11日に行われた生徒会行事「対面式・部紹介」でした。実施要領も何も準備ができていなかったもので、私の頭の中がパニックに陥る中、会長の川瀬さんをはじめとする生徒会執行部の7人のメンバーは、既に主な準備を終えており、そのそのつけない仕事ぶりと冷静な対応ぶりを見て、本当に頼りがいがあり、安心した記憶があります。

その後も、生徒総会、壮行会、苦南祭、スポーツ大会と生徒会行事が続く中で、生徒会執行部はやるべきことをしっかりと把握し、それぞれが協力し合いながら役割分担もきっちり行い、どの行事も大成功のうちには終えることができました。特に、やはり苦南祭は、最も大きな行事であり、しかも担当の私が全く把握していない中で、まさに生徒会執行部がリーダーとなり、各実行委員会を動かし、先生方の協力を仰ぎ、全校生徒を楽しましたその手腕は特筆に値すると思います。私は、どんな業

務を誰がいつまでにやらなければならないかを逐一確認し、チェックするということだけをやればよいという状況で、これぞ生徒会行事という運営をしてくれたと思います。

現生徒会執行部のみんなの仕事に対する厳しき、処理能力、学校に対する思い、のおかげでこの前期の怒濤のような日々を乗り越えることができましたと思います。本当にご苦労さまでした。そしてありがとうございます。きつと今後の人生の中で大きな力になると断言します。

後期には、新しい執行部が誕生し、新たな生徒会活動となるわけですが、現執行部が残した大きなものを糧として、「新たなステージ」へと進めていけたらいいと思います。

後期行事予定

10月14日(金)	学校説明会
10月15日(土)	PTA研修旅行
11月5日(土)	見学旅行 (～9日)
12月1日(木)	後期中間考査 (～6日)
9日(金)	PTA・後援会運営委員会
22日(木)	全校集会・大掃除
23日(金)	冬季休業 (～1月16日)
1月17日(火)	全校集会・定期テスト
2月1日(水)	3学年家庭学習開始
2日(木)	宿泊研修 (～4日)
27日(月)	学年末考査
(～3月2日)	
29日(水)	卒業式予行・同窓会入会式
3月1日(木)	第34回卒業証書授与式
23日(金)	後期終業式・大掃除
	PTA・後援会役員会

新秋の積丹・小樽を旅しませんか

～PTA視察研修旅行

本校PTAでは毎年、道内各地の施設見学と会員の親睦を目的とする研修旅行を実施しています。今年も積丹・小樽の旅です。ふるってご参加下さい。

- 1 期日 平成23年10月15日(土)
- 2 行程 積丹美国港から水中展望船にて40分の海上散歩「ニューしゃこたん号」での海岸線めぐり
ニッカウ井スキー工場見学
昼食 小樽運河食堂 (ランチバイキング)
小樽運河散策
- 3 参加費用 1人 2,000円
- 4 申込み締切り 10月4日(火)までに担任へお申し込みください。

積丹の美しい海や海岸線、飛び交う海鳥たちとふれあってみませんか!



積丹の表情豊かな大自然を船上からごゆっくりとご満喫ください!



苦南
Photos
目誌



学校祭





遠足



スポーツ大会

